

# 川越ロータリークラブ 会 報 No.13

2025 年 10 月 7 日 第 3541 回例会 会場：川越プリンスホテル 5 階

会員数：104 名 免除出席者：10 名 正会員出席者：50 名 出席者：60 名 早退：1 名 出席率：64.5

## プログラム

点鐘（12：30）／国家：君が代、ロータリー  
ソング（第1例会：奉仕の理想）／ビジター・  
お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／  
幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス  
／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：  
山崎SAA〉

### 《卓話講師紹介》

齊藤大祐ガバナー補佐（鶴ヶ島 RC）

### 《ビジター紹介》

田中憲一 IM 実行委員長（鶴ヶ島 RC）

### 《ゲスト紹介》

ドミニカ・ポゴシアンさん 青少年交換留学生  
吉澤亜矢子様 ホストファミリー

## 会長の時間

2025-26 年度 会長 吉澤 徳安

### 理事会報告

#### ガバナー公式訪問の延期

10 月 28 日に予定されていたガバナーの公式訪問  
は、ガバナーの病気療養のため、来年の 1 月以降  
に延期されることになりました。11 月 22 日・23  
日の地区大会については、予定通りガバナーも  
参加し、プログラムも変更なく実施される予定  
です。延期に伴い、クラブ協議会の開催方法な  
どは今後の状況を見ながら検討します。

#### 上松江町（旧町名）石碑 佐久間旅館への移設

川越ロータリークラブが設置した石碑の移設につ  
いては、元の位置に戻すことが決定されました。

#### 川越市立特別支援学校への PC 寄贈

10 月 10 日 16 時に川越市立特別支援学校へパソ  
コン 3 台を寄贈します。

#### 東京ロータリークラブ 柏原孫左衛門会長訪問例会

11 月 11 日に東京ロータリークラブの会長が来訪  
されます。300 年間続いた会社の経営について講

演をいただく予定です。せっかくの機会ですので  
30 分ではなく 10～15 分の延長も予定しています。

青少年交換 お小遣い・支援金贈呈 ドマさん

## 幹事報告

2025-26 年度 幹事 高橋 哲彦

- ・配布物 会報、地区大会チラシ、米山豆辞  
典、前年度ガバナー月信特別号、川越  
REMIX、米山奨学金のお願い、赤い羽根
- ・10 月のレート 1 \$ = 149 円（9 月 147 円）
- ・お知らせ いもの子チャリティバザー

## 委員長報告

### 米山記念奨学会委員会（住谷委員長）

10 月は米山記念奨学金月間であり、特別給付申  
込書（緑色の用紙）の提出をお願いします。

### 親睦委員会（永島委員長）

10 月 6 日鳩山カントリークラブにて親睦ゴルフ  
を実施しました。優勝は馬場弘会員。

### 奉仕プロジェクト委員会報告（八木委員長）

10 月 10 日 16 時に川越市立特別支援学校へパソ  
コン 3 台を寄贈します。会長・委員長・担当委  
員が学校に出向いて実施します。

### 次週卓話担当（会長・幹事）

前半は、地区大会のお願い、後半は野溝会長エレ  
クトより次年度方針をお話いただく予定です。

## ニコニコボックス

- 国際ロータリー第 2570 地区第 1 グループ  
ガバナー補佐齊藤大祐様、本日の卓話よろしく  
お願い致します。〈会長、幹事〉●田中憲一 IM  
実行委員長ようこそ、川越ロータリークラブへ  
例会を楽しんでいって下さい。〈会長、幹事〉
- 青少年交換留学生ドマちゃん、ホストファミ  
リー吉澤亜矢子様ようこそ川越ロータリークラ  
ブへ楽しんでいって下さい。〈会長、幹事〉

●齊藤大祐ガバナー補佐ようこそ。第1グループの御指導宜しくお願いします。＜西澤、馬場（弘）、齊藤（智）、馬場（常）、小橋、住谷、高橋（徹）、栗原、石井、栗林、小川、小杉、西川、近藤、岩堀、藤井、野溝、小高、相原、神谷、山崎（共）、長瀬、八木、小林、蓼沼、戸口、中野（文）、山田（和）、廣瀬、長岡、井上＞●前週のパストガバナー会では、サプライズの誕生祝をしていただきました。吉澤会長さん、出席の皆様のご共活に感謝です。＜伊藤＞●昨日の地区大会ゴルフ御苦労様でした。＜栗原、小川、蓼沼、小林（勇）＞●適当にゴルフを楽しんでいました所、良いゴルフ場とメンバーにめぐまれ優勝してしまいました。ありがとうございます。＜馬場（弘）＞●川越まつりの時は、りそなコエドテラスの駐車場にてテントを張ってお酒を用意しておりますので、ロータリーの皆様、是非足休めにお立ち寄り下さい。＜高原＞●音楽と光と食の祭典レミックスのチラシをポストに入れさせてもらいました。涼しくなりましたので是非参加してみして下さい。＜片山＞

●早退1名（敬称略）合計51,000円

## 卓話 ガバナー補佐訪問

講師：齊藤大祐ガバナー補佐（鶴ヶ島 RC）

・＜略歴＞1970年生まれ、鶴ヶ島出身で、2012年に鶴ヶ島ロータリークラブに入会。2016年幹事。2021-22年度に会長を務め、地区の社会奉仕委員会にも関わってきました。ガバナー補佐としての役割や、クラブの現状把握・サポートの重要性について感じております。

・ガバナー補佐訪問にあたり、川越ロータリークラブの歴史・伝統、ガバナー輩出数等の多さ、地域に根付いた活動の充実ぶりを実感しています。公式訪問はクラブごとに合わせた対応が必要で、事前に他クラブの公式訪問事例も参考にしています。

・以前「うちのロータリーは形骸化しているよ」という声を聴き、まずはロータリークラブの「形骸化」について触れさせていただこうと思います。形式だけが残り実質的な活動が停滞することが「形骸化」の意味です。それは確かに危険性を感じます。しかし、川越ロータリー

クラブは活発で熱心な会員が多く、全く形骸化していないと思います。

・「形骸化」について、他クラブの事例を挙げますと、親睦活動ばかりで奉仕活動がほとんど行われず、会員数が10名を割り込むクラブがあります。そのクラブでは、会長が「集まれば親睦だよ」と言い、例会内容も趣味や旅行の話が中心。奉仕活動や学びの機会が減り、活動理念が形骸化しています。更に、寄付行為も「称されない寄付」を3年間継続したが、社会的意義が薄くなり中止した事例もありました。

・地域社会への奉仕活動がなくなり、会員の高齢化や新規会員の誘致が困難になっている現状があります。「親睦」活動に偏りすぎると、「うちは集まれば親睦だよ」と言われることに違和感を感じる会員が増え、「奉仕」の精神が薄れるリスクを感じます。

・「ロータリーとライオンズの違いについて」ロータリーは1905年ポールハリス氏が設立、ライオンズは1917年設立で、「ロータリーは自分や社会、世界への奉仕を重視し、ライオンズは寄付活動が中心である」と思います。ライオンズは都市部では会員が多いが、地方では会員数が減少傾向。寄付行為が奉仕活動の中心で、地方では厳しくなっているのではないのでしょうか。私自身は、ロータリーの「学びと実践」の考え方に共感し、ライオンズの寄付中心の活動には馴染みませんでした。地域団体から「ロータリーもライオンズも同じ」と見られることへの違和感を感じます。ロータリーの独自性を語っていきたいと思います。

・来年度のグループ再編で、川越市内4クラブが1グループ、それ以外が別グループになる見通しです。グループ分割により補佐のサポート体制が強化されますが、クラブ数や地域による課題も残ります。11クラブを分割することで、補佐のサポートがしやすくなりますが、人数や地域によってサポートの難しさがあります。

・来年3月15日にIMをプリンスホテルで開催予定。開会は14時からで、最後のIMとなる予定です。積極的な参加をお願いします。